

# 倉吉市内に活動拠点をおく市民活動団体の 活動状況等に関するアンケート報告書

## 調 査 の 概 要

- |         |                                                                                               |  |            |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--|------------|
| 1 調査目的  | このアンケートは、市内に活動拠点をおく市民活動団体の活動状況等を把握することで、団体の現状や運営上の課題を明確にし、本市における市民活動団体の活動支援策の検討資料として活用するものです。 |  |            |
| 2 実施主体  | 倉吉市（市民生活部地域づくり支援課）                                                                            |  |            |
| 3 調査期間  | 令和 6 年 9 月 14 日（土）から 10 月 4 日（金）まで                                                            |  |            |
| 4 調査対象  | 倉吉市内に活動拠点をおく市民活動団体                                                                            |  |            |
| 5 調査項目  | ・団体の概要について                                                                                    |  | （問 1 ～ 8）  |
|         | ・活動の支援について                                                                                    |  | （問 9 ～ 11） |
|         | ・協働のまちづくり助成事業について                                                                             |  | （問 12）     |
|         | ・その他                                                                                          |  | （問 13）     |
| 6 調査方法  | アンケート【回答書】に記入のうえ、郵送またはメールで回答                                                                  |  |            |
| 7 調査結果  | 比率は百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。                           |  |            |
| 8 調査回収率 | 32.2%（回答 29 団体／調査 90 団体）<br>（前年度比 4.1 ポイント減 ※前年度調査回収率：36.3%）                                  |  |            |

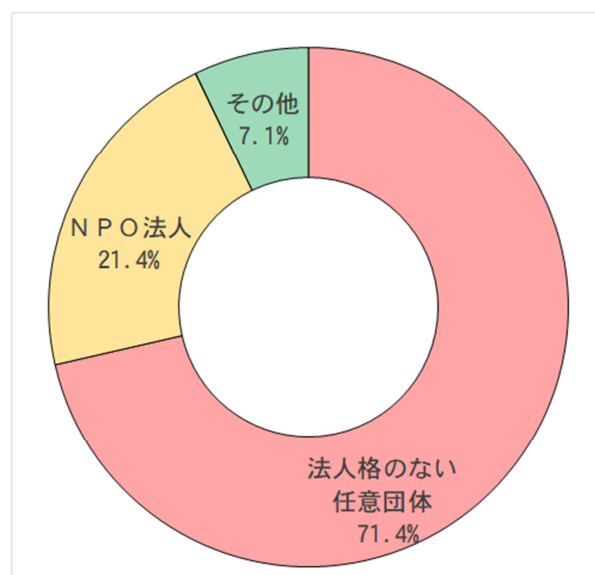
## 団体の概要について

貴団体の概要（団体種別）について、ご記入ください。

| 項目番号 | 選択項目       | 回答数 | 構成比    |
|------|------------|-----|--------|
| 1    | 法人格のない任意団体 | 10  | 71.4%  |
| 2    | NPO法人      | 3   | 21.4%  |
| 3    | 一般社団・財団法人  | 0   | 0.0%   |
| 4    | その他        | 1   | 7.1%   |
|      | 合計         | 14  | 100.0% |

団体の概要（団体種別）については、「法人格のない任意団体」（71.4%）が最も高くなっている。

- 地元住民や既存の地域団体、特定の趣味や課題意識などを共有する仲間により構成された法人格のない団体（NPO やサークルなど）が多く存在している。



問1 活動分野について、あてはまる番号に「○」（複数回答可）、特に中心となる活動に「◎」（1つ）をご記入ください。

| 項目番号 | 選択項目      | ◎回答数 | 構成比   | ○回答数 | 構成比  |
|------|-----------|------|-------|------|------|
| 1    | 高齢者支援     | 1    | 4.5%  | 6    | 9.8% |
| 2    | 障がい者支援    | 2    | 9.1%  | 5    | 8.2% |
| 3    | 子育て支援     | 1    | 4.5%  | 6    | 9.8% |
| 4    | 福祉・健康増進   | 2    | 9.1%  | 5    | 8.2% |
| 5    | 医療支援      | 1    | 4.5%  | 0    | 0.0% |
| 6    | 社会教育      | 0    | 0.0%  | 4    | 6.6% |
| 7    | まちづくり     | 2    | 9.1%  | 6    | 9.8% |
| 8    | 学術・文化・芸術  | 3    | 13.6% | 3    | 4.9% |
| 9    | スポーツ      | 1    | 4.5%  | 2    | 3.3% |
| 10   | 環境保全      | 1    | 4.5%  | 6    | 9.8% |
| 11   | 災害救援      | 2    | 9.1%  | 2    | 3.3% |
| 12   | 地域安全      | 0    | 0.0%  | 3    | 4.9% |
| 13   | 人権擁護・平和推進 | 0    | 0.0%  | 0    | 0.0% |
| 14   | 国際協力      | 0    | 0.0%  | 1    | 1.6% |
| 15   | 男女共同参画    | 0    | 0.0%  | 3    | 4.9% |
| 16   | 子どもの健全育成  | 3    | 13.6% | 5    | 8.2% |
| 17   | デジタル化     | 0    | 0.0%  | 0    | 0.0% |
| 18   | 科学技術      | 0    | 0.0%  | 0    | 0.0% |
| 19   | 経済振興      | 0    | 0.0%  | 1    | 1.6% |
| 20   | 職業能力開発・雇用 | 0    | 0.0%  | 0    | 0.0% |
| 21   | 消費者保護     | 0    | 0.0%  | 0    | 0.0% |
| 22   | その他       | 3    | 13.6% | 3    | 4.9% |
|      | 合計        | 22   | 100%  | 61   | 100% |

\* その他（自由記載）

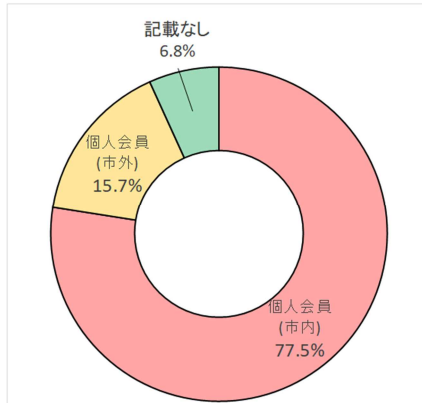
- ・ 公衆トイレ清掃
- ・ ボランティア活動中心
- ・ ホタルを見たことのない保育園児、小学生保護者が多数。多くの人にホタルを見てもらいたい

活動分野（特に中心となる活動に「◎」）については、「学術・文化・芸術」「子どもの健全育成」（13.6%）が最も高くなっている。活動分野（あてはまる番号に「○」）については、「高齢者支援」「まちづくり」「子育て支援」、「社会教育」（9.1%）となっている。

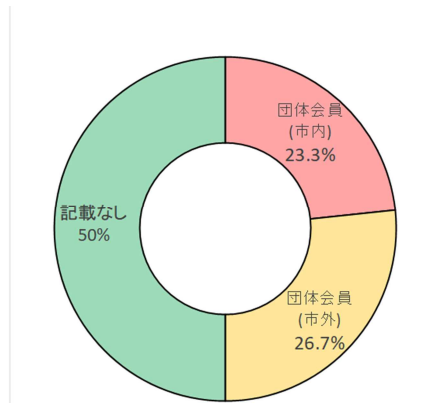
➤ 本市においては「学術・文化・芸術」及び「子どもの健全育成」に関する活動を主軸に行う団体の割合が最も高いが、高齢者支援、まちづくり、子育て支援、社会教育など多岐にわたる活動が盛んに行われている。

問 2 会員数について、ご記入ください。

| 項目番号 | 選択項目   | 会員数 | 構成比    |
|------|--------|-----|--------|
| 1    | 個人会員合計 | 724 | 100.0% |
|      | うち市内   | 561 | 77.5%  |
|      | うち市外   | 114 | 15.7%  |
|      | 内訳記載なし | 49  | 6.8%   |



| 項目番号 | 選択項目   | 会員数 | 構成比    |
|------|--------|-----|--------|
| 2    | 団体会員合計 | 30  | 100.0% |
|      | うち市内   | 7   | 23.3%  |
|      | うち市外   | 8   | 26.7%  |
|      | 内訳記載なし | 15  | 50%    |



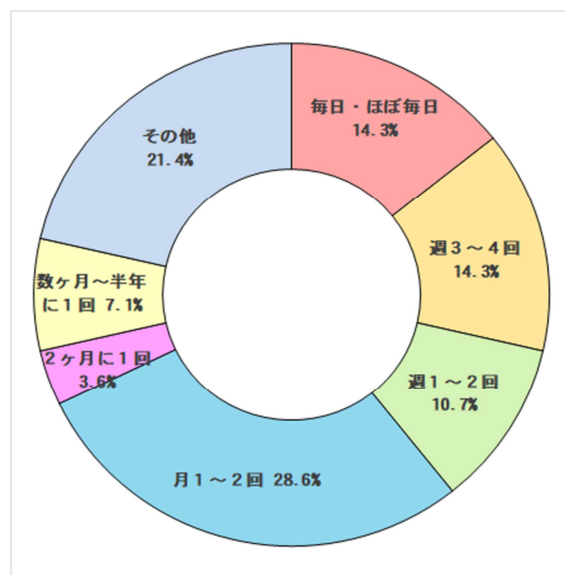
- 個人以外にも地域企業や関係団体などによる市民活動団体への参画や支援が行われている。  
 全体の回答数は減少しているが、昨年と比較すると団体の個人会員合計数の人数は昨年よりも約 110 人増加しており、会員の確保に成功している団体もあると見て取れる。

問 3 活動の頻度について、あてはまる番号に「○」をご記入ください。

| 項目番号 | 選択項目        | ○回答数 | 構成比    |
|------|-------------|------|--------|
| 1    | 毎日・ほぼ毎日     | 4    | 14.3%  |
| 2    | 週 3～4 回     | 4    | 14.3%  |
| 3    | 週 1～2 回     | 3    | 10.7%  |
| 4    | 月 1～2 回     | 8    | 28.6%  |
| 5    | 2 ヶ月に 1 回   | 1    | 3.6%   |
| 6    | 数ヶ月～半年に 1 回 | 2    | 7.1%   |
| 7    | その他         | 6    | 21.4%  |
|      | 合計          | 28   | 100.0% |

\* その他 (自由記載)

- ・総会年 1 回、イベント年 1～2 回、2 ヶ月に 1 回サロン
- ・必要な時に会員協議により実施
- ・調査研究は必要があればいつでも
- ・年に 1～2 回
- ・年 6 回 4 月～9 月の第三日曜日



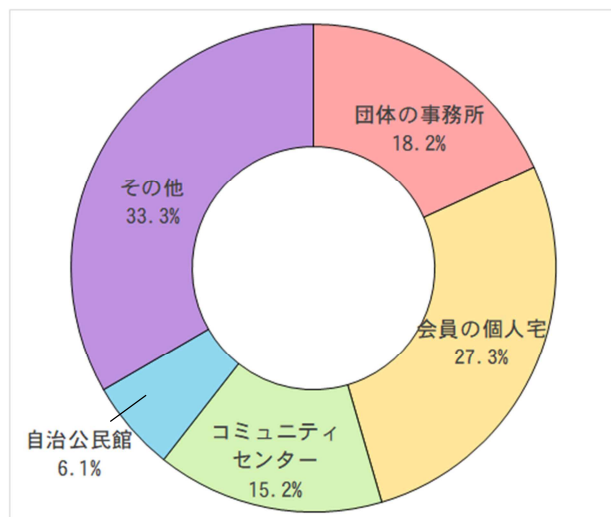
- 「月 1～2 回」の割合が 28.6%と最も高いが、前年度と比べると 0.4%減少している。また、「毎日・ほぼ毎日」「週 3～4 回」「週 1～2 回」の合計割合は 39.3%と昨年に比べ 3.8 ポイント増加しており、活動や団体を維持するため、団体の性質などに応じて無理なく続けられる頻度で活動を実施している。

問4 主な活動拠点について、あてはまる番号に「○」をご記入ください。

| 項目番号 | 選択項目       | ○回答数 | 構成比    |
|------|------------|------|--------|
| 1    | 団体の事務所     | 6    | 18.2%  |
| 2    | 会員の個人宅     | 9    | 27.3%  |
| 3    | コミュニティセンター | 5    | 15.2%  |
| 4    | 自治公民館      | 2    | 6.1%   |
| 5    | その他        | 11   | 33.3%  |
|      | 合計         | 33   | 100.0% |

\*その他（自由記載）

- ・よりん彩、福祉センター
- ・倉吉市文化活動センター
- ・小学校体育館、鳥取県中部の野球場
- ・学校又はボランティア会場
- ・体育センター・陸上競技場・コミュニティセンター
- ・障がい者グループホーム
- ・倉吉リフレプラザ
- ・湯命館
- ・市役所
- ・野外



- 主な活動拠点については、「その他」が33.3%で最多となり、昨年より5.7ポイント増加している。「会員の個人宅」についても17ポイント増加しており、反対に「コミュニティセンター」「自治公民館」といった市の公共施設の利用は9.7ポイント減少した。利用申請や利用料金の支払いのない気軽に利用できる活動拠点が求められている。

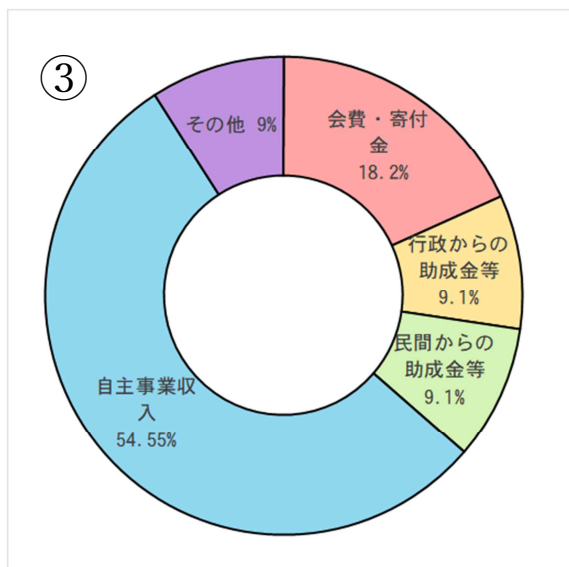
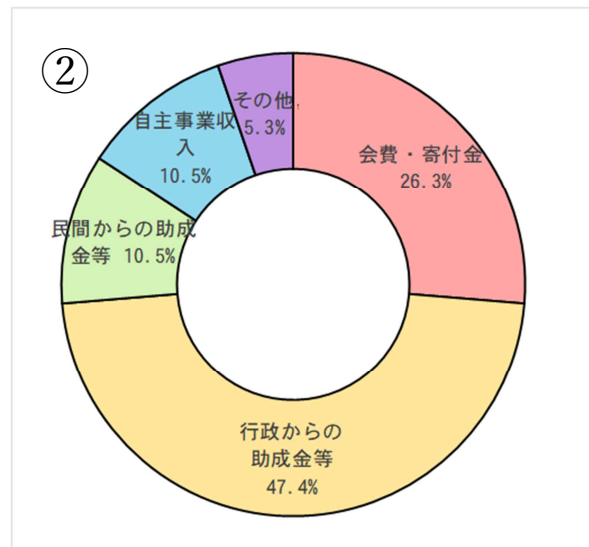
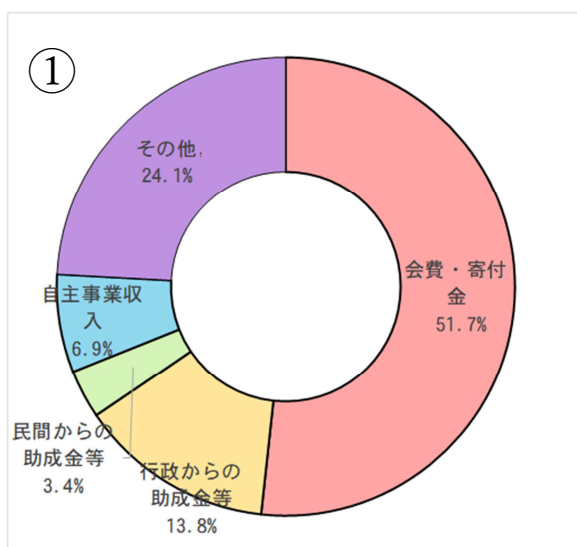


問5 主な収入源として、大きい順から①、②、③の番号をご記入ください。

| 項目番号 | 選択項目      | ①回答数 | 構成比    | ②回答数 | 構成比    | ③回答数 | 構成比    |
|------|-----------|------|--------|------|--------|------|--------|
| 1    | 会費・寄付金    | 15   | 51.7%  | 5    | 26.3%  | 1    | 9.1%   |
| 2    | 行政からの助成金等 | 4    | 13.8%  | 9    | 47.4%  | 2    | 18.2%  |
| 3    | 民間からの助成金等 | 1    | 3.4%   | 2    | 10.5%  | 2    | 18.2%  |
| 4    | 自主事業収入    | 2    | 6.9%   | 2    | 10.5%  | 6    | 54.5%  |
| 5    | 借入金       | 0    | 0.0%   | 0    | 0.0%   | 0    | 0.0%   |
| 6    | その他       | 7    | 24.1%  | 1    | 5.3%   | 0    | 0.0%   |
|      | 合計        | 29   | 100.0% | 19   | 100.0% | 11   | 100.0% |

\* その他（自由記載）

- ・無収入 ・自治公民館より援助 ・自己負担
- ・学校からの活動費



- 市民活動団体の収入源として、大きい順から「会費・寄付金」「行政からの助成金等」「自主事業収入」となっている。行政以外にも民間企業や財団による助成金の制度があるものの、「民間からの助成金等」は全体として低くなっている。団体の取り組みや目的に応じて、官民が行う助成制度を効果的に活用し、必要に応じて予算を確保することが求められている。

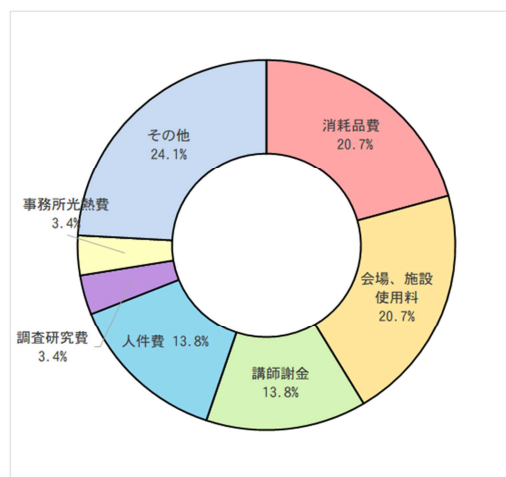
問6 支出が多い費用について、大きい順から①、②、③の番号をご記入ください

| 項目番号 | 選択項目     | ①回答数 | 構成比    | ②回答数 | 構成比    | ③回答数 | 構成比    |
|------|----------|------|--------|------|--------|------|--------|
| 1    | 消耗品費     | 6    | 20.7%  | 10   | 41.7%  | 3    | 16.7%  |
| 2    | 会場、施設使用料 | 6    | 20.7%  | 1    | 4.2%   | 2    | 11.1%  |
| 3    | 講師謝金     | 4    | 13.8%  | 1    | 4.2%   | 2    | 11.1%  |
| 4    | 調査研究費    | 1    | 3.4%   | 0    | 0.0%   | 0    | 0.0%   |
| 5    | 通信費      | 0    | 0.0%   | 2    | 8.3%   | 5    | 27.8%  |
| 6    | 事務所光熱費   | 1    | 3.4%   | 3    | 12.5%  | 3    | 16.7%  |
| 7    | 事務所賃借料   | 0    | 0.0%   | 2    | 8.3%   | 1    | 5.6%   |
| 8    | 人件費      | 4    | 13.8%  | 3    | 12.5%  | 2    | 11.1%  |
| 9    | その他      | 7    | 24.1%  | 2    | 8.3%   | 0    | 0.0%   |
|      | 合計       | 29   | 100.0% | 24   | 100.0% | 18   | 100.0% |

\* その他（自由記載）

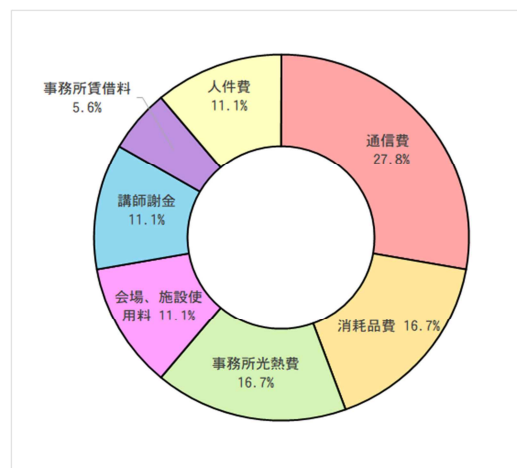
・運送料(楽器) ・研修会・交流会 ・交通費 ・会費

①



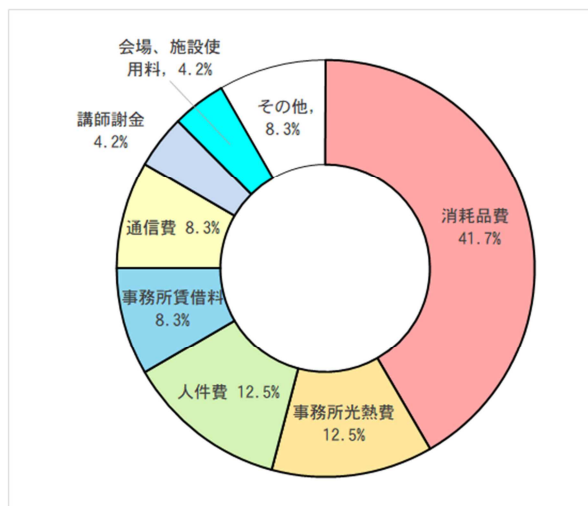
支出が多い費用（最も大きいもの「①」）については、「その他」（24.1%）が最も高くなっている。（その他の記述は上記のとおり）次いで「消耗品費」「会場、施設利用料」（20.7%）が高い。

②



支出が多い費用（2番目に大きいもの「②」）については、「通信費」（27.8%）が最も高く、次いで「消耗品費」「事務所光熱費」（16.7%）となっている。

③



支出が多い費用（3番目に大きいもの「③」）については、「消耗品費」（41.7%）が最も高く、次いで「事務所光熱費」「人件費」（12.5%）となっている。

➤ 団体によって最多支出科目にばらつきがあるものの、物価高騰の影響か「消耗品費」の支出に占める割合は一貫して高くなっている。また、施設使用料や事務所光熱費など活動拠点に関する支出も多くなっている。

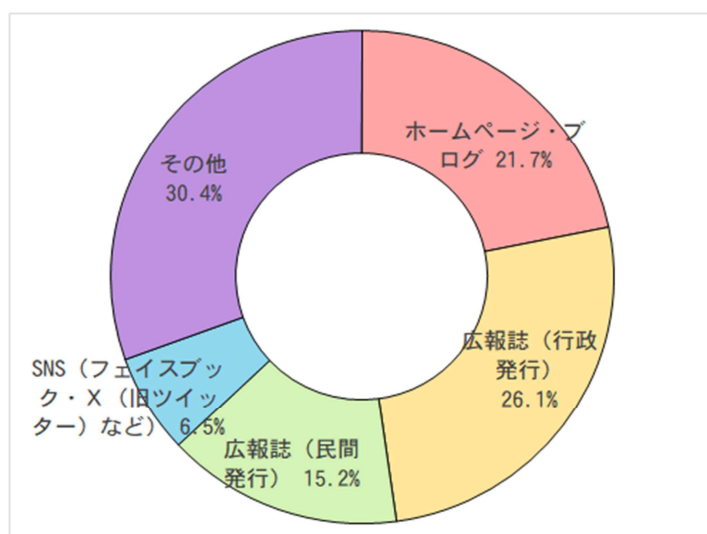


問 7-1 団体に関する情報（PR、事業の周知など）をどのようにして収集していますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください（複数回答可）

| 項目番号 | 選択項目                     | ○回答数 | 構成比    |
|------|--------------------------|------|--------|
| 1    | ホームページ・ブログ               | 10   | 21.7%  |
| 2    | 広報誌（行政発行）                | 12   | 26.1%  |
| 3    | 広報誌（民間発行）                | 7    | 15.2%  |
| 4    | SNS（フェイスブック・X（旧ツイッター）など） | 3    | 6.5%   |
| 5    | その他                      | 14   | 30.4%  |
|      | 合計                       | 46   | 100.0% |

\* その他（自由記載）

- ・東京にある本部からの会報
- ・巡視により収集
- ・市内のボランティア団体との交流
- ・色々な団体からのボランティア依頼
- ・あまり困っていないが行政からの情報を主に収集している。
- ・NPO に合う情報があればいいと思う。
- ・文献、古文書
- ・活動場所である湯命館の指導者
- ・日赤からと防災安全課より
- ・県担当課
- ・会員・クラブネットワーク
- ・コミュニティセンター、社会福祉協議会



団体に関する情報の収集については、「その他」（30.4%）が最も高く、次いで「広報誌（行政発行）」（26.1%）となっている。（その他の記述は上記のとおり）

➤ 「ホームページ・ブログ」「SNS（フェイスブック・X（旧ツイッター）など）」のインターネット媒体の割合が昨年から 15 ポイント減少した。他の回答からも見て取れるが、「その他」を回答する団体が多く、情報収集にあたり団体独自の手法をとっている。

問 7-2 情報収集にあたり、お困りごとがありましたらご記入ください。

- ・高齢者(女性)のため、ホームページとかブログ、写真苦手です。会員外の方をお願いすること多し。
- ・活動内容が一定しているので、市立図書館からの団体交流会とライトハウスの研修会案内、市社協からのボランティア研修会で事足りていると思います。
- ・倉吉淀屋については正確な情報収集が必要です。私達はその正確さを求めており、いずれきちんと発表したいです。（倉吉淀屋の働きは全国に知られる価値あり。）
- ・今、活動を行う上では特に困っていない。
- ・鳥取県・倉吉市などからのイベントチラシが届かない。他団体のイベントなど活動団体の連絡先が不明。
- ・パソコン操作が未熟で困ることが多い。

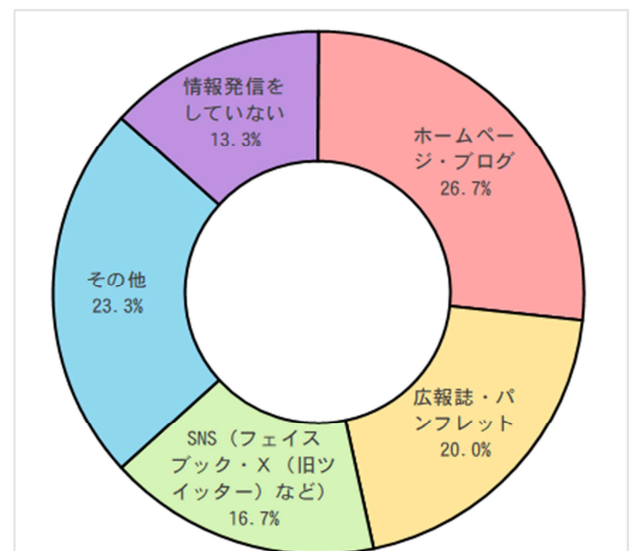


問 8-1 団体に関する情報（PR、事業の周知など）をどのようにして発信していますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。（複数回答可）

| 項目番号 | 選択項目                     | ○回答数 | 構成比    |
|------|--------------------------|------|--------|
| 1    | ホームページ・ブログ               | 8    | 26.7%  |
| 2    | 広報誌・パンフレット               | 6    | 20.0%  |
| 3    | SNS（フェイスブック・X（旧ツイッター）など） | 5    | 16.7%  |
| 4    | その他                      | 7    | 23.3%  |
| 5    | 発信していない                  | 4    | 13.3%  |
|      | 合計                       | 30   | 100.0% |

\* その他（自由記載）

- ・会合の席で PR
- ・口コミ、広報紙で知ってもらった
- ・コミュニティセンターにチラシ配布
- ・ワークショップ開催情報を市報で案内
- ・湯命館のホームページ



団体に関する情報の発信については、「ホームページ・ブログ」（26.7％）が最も高く、次いで「その他」（23.3％）、「広報誌・パンフレット」（20.0％）となっている。（その他の記述は上記のとおり）

- 「ホームページ・ブログ」「SNS（フェイスブック・X（旧ツイッター）など）」の割合が 43.4％と昨年より 8.1％ポイント、「広報誌・パンフレット」などの紙媒体の割合についても昨年より減少している。

問 8-2 情報発信にあたり、お困りごとがありましたらご記入ください。

- ・一時ホームページも開設していたが、維持管理に費用と労力がかかり、とり止めた。
- ・会員外の方の方をお願いしています。わらべ館さんに願ひすることが多いです。新会員の加入を待ち、努力はしています。
- ・ワークショップ開催等を興味のある方への伝え方が分からない。高齢者が多いのでホームページや SNS の活用ができない。
- ・SNS 活用講座(無料)があれば参加したい。
- ・"未就学児、学齢期の子どもへの広報、活動内容の周知。
- ・小学校入学前のお子さん、小学校低学年のお子さんへのパンフレット、チラシなどを幼稚園、保育園、小学校などで配布して頂けないか？
- ・倉吉市内、公共施設、コミュニティセンターなど倉吉市のお力添えで配架することが出来て大変助かっております。

## 活動の支援について

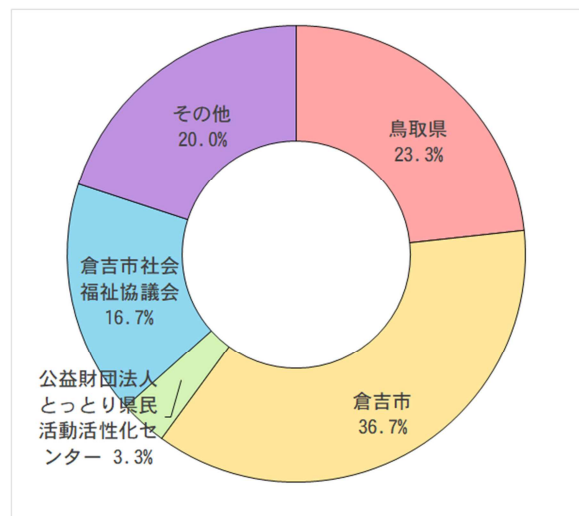
問 9 活動を進めていくうえでの課題や困りごとについて、どこに相談をされていますか。  
あてはまる番号に「○」をご記入ください。

| 項目番号 | 選択項目                  | 回答数 | 構成比    |
|------|-----------------------|-----|--------|
| 1    | 国                     | 0   | 0.0%   |
| 2    | 鳥取県                   | 7   | 23.3%  |
| 3    | 倉吉市                   | 11  | 36.7%  |
| 4    | 公益財団法人とっとり県民活動活性化センター | 1   | 3.3%   |
| 5    | 倉吉市社会福祉協議会            | 5   | 16.7%  |
| 6    | その他                   | 6   | 20.0%  |
|      | 合計                    | 30  | 100.0% |

\* その他（自由記載）

・同活動団体

- 相談先として「倉吉市」（36.7%）と回答した団体が最も多く、次いで「鳥取県」（23.3%）となった。昨年割合の高かった「とっとり県民活動活性化センター」は18.5ポイント減少している。他質問と同様に、「その他」と答える団体が増えている。



問10-1 「市民活動団体」として倉吉市に登録していますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

| 項目番号 | 選択項目    | ○回答数 | 構成比    |
|------|---------|------|--------|
| 1    | 登録している  | 21   | 77.8%  |
| 2    | 登録していない | 6    | 22.2%  |
|      | 合計      | 27   | 100.0% |

問10-2 「【問10-1】 1 登録している」と回答した方に質問します。

倉吉市では、「市民活動団体」として登録していただいた団体に対し、各種情報のご案内、団体及び団体活動の広報支援等を行っています。倉吉市の支援についてどう思われますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

| 項目番号 | 選択項目           | ○回答数 | 構成比    |
|------|----------------|------|--------|
| 1    | 満足している         | 2    | 9.5%   |
| 2    | どちらかと言えば満足している | 14   | 66.7%  |
| 3    | どちらかと言えば不満である  | 3    | 14.3%  |
| 4    | 不満である          | 0    | 0.0%   |
| 5    | わからない          | 2    | 9.5%   |
|      | 合計             | 21   | 100.0% |

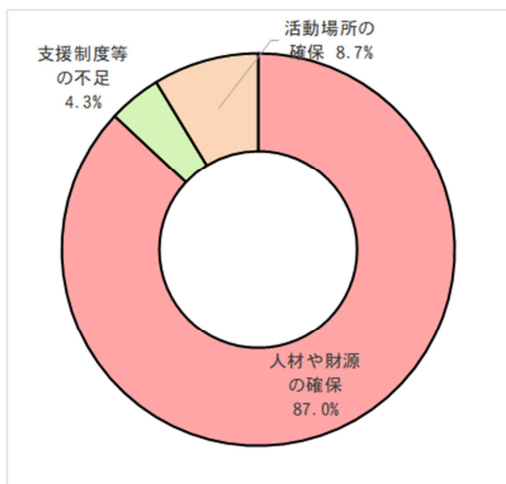
- 倉吉市の支援について「満足している」「どちらかと言えば満足している」が76.2%と、昨年より17.1ポイント増加し、アンケート協力団体の7割強が概ね満足しているという結果になった。しかし、「どちらかと言えば不満である」「わからない」は併せて23.8%あるため、市民活動団体のニーズにあった支援が必要であると考えられる。



問11 活動を進めていくうえでの課題や困りごとについて、下記番号の中から当てはまる順に①、②、③に番号をご記入ください。また貴団体が抱える課題と、課題解決のために行政に望む支援策の具体的な内容についてお答えください。

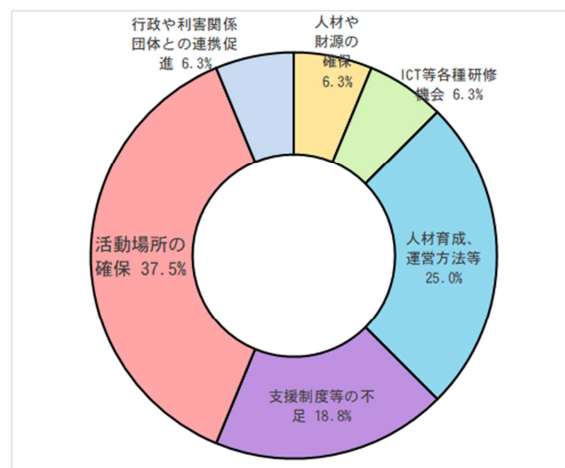
| 項目番号 | 選択項目              | ①回答数 | 構成比    | ②回答数 | 構成比    | ③回答数 | 構成比    |
|------|-------------------|------|--------|------|--------|------|--------|
| 1    | 人材（会員・メンバー）や財源の確保 | 20   | 87.0%  | 1    | 6.3%   | 0    | 0.0%   |
| 2    | ICT等各種研修機会        | 0    | 0.0%   | 1    | 6.3%   | 0    | 0.0%   |
| 3    | 人材育成、運営方法等        | 0    | 0.0%   | 4    | 25.0%  | 0    | 0.0%   |
| 4    | 支援制度等の不足          | 1    | 4.3%   | 3    | 18.8%  | 1    | 14.3%  |
| 5    | 他団体との交流           | 0    | 0.0%   | 0    | 0.0%   | 2    | 28.6%  |
| 6    | 活動場所の確保           | 2    | 8.7%   | 6    | 37.5%  | 2    | 28.6%  |
| 7    | 市民への情報収集・発信       | 0    | 0.0%   | 0    | 0.0%   | 2    | 28.6%  |
| 8    | 行政や利害関係団体との連携促進   | 0    | 0.0%   | 1    | 6.3%   | 0    | 0.0%   |
| 9    | 身近な相談窓口の確保        | 0    | 0.0%   | 0    | 0.0%   | 0    | 0.0%   |
|      | 合計                | 23   | 100.0% | 16   | 100.0% | 7    | 100.0% |

①



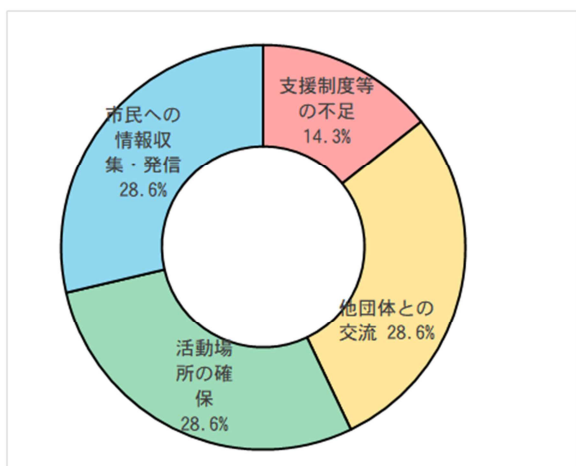
活動を進めていくうえでの最も当てはまる課題や困りごと「①」について「人材や財源の確保」(87.0%)が最多となり市民活動団体の共通の課題となっている。

②



活動を進めていくうえでの当てはまる課題や困りごと「②」について「活動場所の確保」(37.5%)が最多となっている。①の「人材や財源の確保」を除けば団体ごとに多様な課題があることが分かる。

③



活動を進めていくうえでの課題や困りごと「③」については大きく4つに分かれている。「支援制度等の不足」「活動場所の確保」は②に続いて多くなっている。

課題や困りごとの内容（自由記述）

| 項目番号                    | 記述内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.<br>人材（会員・メンバー）や財源の確保 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員減。</li> <li>・随時、団員募集をしているが会員がなかなか増えない。</li> <li>・高齢化のため、新加入の方を求めるため会員で努力をしている。</li> <li>・役員の高齢化。</li> <li>・介護等でやめる人があるので、新規会員を集めるのが難しい。</li> <li>・会員数の確保が難しい。</li> <li>・会員が少ないというよりも特殊すぎて人材がいらない。</li> <li>・河川内の藻、草の除去費用。参加者の高齢化もあり、藻、草の繁殖が活動を妨げている。危険も伴っている。</li> </ul>        |
| 2.<br>ICT 等各種研修機会       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS を活用した情報発信</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 3.<br>人材育成・運営方法等        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・催事をするために運営を出来る人材を集めたいが、現在の個人宅では信用がなく、外部に委託しなければならず経費がかかってしまう。</li> <li>・運営スタッフ不足。</li> </ul>                                                                                                                                                                                      |
| 4.<br>支援制度等の不足          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取市とも比較して倉吉市は何もしていない。</li> <li>・冊子作り等の支援がほしい。</li> <li>・支援制度が活用しにくい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                   |
| 5.<br>他団体との交流           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体と目的は一つなのに、どうしても他人行儀に思われる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                           |
| 6.<br>活動場所の確保           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局の設置。</li> <li>・活動場所の確保と経費について。</li> <li>・活動拠点は文化活動センターを活用させてもらっており、とても助かっている。</li> <li>・伝統文化の伝承には技の伝承も必要。技の発表で育成、宣伝が欠かせない。</li> <li>・災害時に連絡を取り合うためにアンテナがあれば。</li> <li>・独自の活動拠点がない。</li> <li>・一般的な文化活動者が気軽に相談できる場所がない。人数にかかわらず会議、打ち合わせの度に会議室を借りなければならず、経済的に困難になっている。</li> </ul> |
| 7.<br>市民への情報収集・発信       | (記載なし)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 8.<br>行政や利害関係団体との連携促進   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・打吹まつりでの当団体の紹介が不十分だと思います。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                               |
| 9.<br>身近な相談窓口の確保        | (記載なし)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

行政に望む支援策の具体的な内容（自由記述）

| 項目番号                    | 記述内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.<br>人材（会員・メンバー）や財源の確保 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会の活動の広報。</li> <li>・市報などで各ボランティアを紹介してほしい。</li> <li>・録音の機器が古くなり代用しているが、性能が良く操作しやすい機器があればと思っている。</li> <li>・学校のクラブ活動の企画などに助成金を出して欲しい。</li> <li>・助成金等あれば教えてほしい。</li> <li>・事務局長は倉吉淀屋の関係者ですし、先祖が実際に倉吉淀屋牧田家と知り合いでした。本当の意味で淀屋研究をしている事実を認めてほしいです。</li> <li>・文化団体として活動をし、小さな展示会の補助はボランティアでしているが、大きな催事を開催できる安定した補助金を得たい。</li> </ul> |
| 2.<br>ICT 等各種研修機会       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊を講師に情報発信講座の開設など。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 3.<br>人材育成・運営方法等        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・録音の仕方の研修や機器の紹介を。</li> <li>・人材育成として 30 代～50 代の活動者もいるが、定時後に集まる場所がなく、イベント時のみの補助隣、育成につながらないので、いつでも集まり、準備等ができる場所を提供いただきたい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                        |
| 4.<br>支援制度等の不足          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援への広報を多くしてほしい。</li> <li>・活動助成を簡単な手続きでできるようにしてほしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 5.<br>他団体との交流           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パフォーマンスに援助参加をして参加者の増大ははかれないものか？</li> <li>・他団体との交流の機会の場作り。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 6.<br>活動場所の確保           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人所有の事務所兼活動拠点となっているので冷暖房等の通常経費の支援をいただきたい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 7.<br>市民への情報収集・発信       | （記載なし）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 8.<br>行政や利害関係団体との連携促進   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存会が輪踊りを紹介する時にはちゃんと紹介してほしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 9.<br>身近な相談窓口の確保        | （記載なし）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

- 回答内容を見ると「人材や財源の確保」が市民活動団体の活動における最大かつ共通の課題となっている。また、②、③の回答を合計すると「活動場所の確保」(66.1%)が多い。人材に関する課題に限らず、活動拠点も市民活動団体の共通の課題であると考えられる。

## 協働のまちづくり助成事業について

《倉吉市協働のまちづくり活動助成事業とは》

公共的課題を解決する活動に参画している市民活動団体の活動を支援することにより、本市の市民活動の促進を図り、もって市民参画と協働のまちづくりを推進することを目的として、当該団体が行う活動費用に対して助成金を交付するもの。

問12-1 上記事業を利用したことがありますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

| 項目番号 | 選択項目      | ○回答数 | 構成比    |
|------|-----------|------|--------|
| 1    | 利用したことがある | 12   | 48.0%  |
| 2    | 利用したことがない | 13   | 52.0%  |
|      | 合計        | 25   | 100.0% |

問12-2 「【問12-1】 1 利用したことがある」と回答した方に質問します。

上記事業を利用し実施した事業は継続していますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

| 項目番号 | 選択項目    | ○回答数 | 構成比    |
|------|---------|------|--------|
| 1    | 継続している  | 6    | 54.5%  |
| 2    | 継続していない | 5    | 45.5%  |
|      | 合計      | 11   | 100.0% |

- 事業の継続により、事業成果の定着や事業の拡大、参加者や地域住民の課題意識が高まるため、事業の継続に繋がる支援が求められている。

問 12-3 「【問 12-2】 2 継続していない」と回答した方に質問します。

上記事業を利用し実施した事業を継続・発展するために必要な要素について、あてはまる番号に「○」をご記入ください。（複数回答可・記載がないものは除外）

| 項目番号 | 選択項目           | ○回答数 | 構成比    |
|------|----------------|------|--------|
| 1    | 活動資金の継続的な確保    | 6    | 42.9%  |
| 2    | 活動人員、協力者の確保    | 4    | 28.6%  |
| 3    | 活動に対する理解       | 1    | 7.1%   |
| 4    | 団体、事業の P R     | 2    | 14.3%  |
| 5    | 地域や企業、行政機関との連携 | 1    | 7.1%   |
| 6    | その他            | 0    | 0.0%   |
|      | 合計             | 14   | 100.0% |

- 事業を継続・発展するために必要な要素については、「活動資金の継続的な確保」（42.9％）が最も高く、次いで「活動人員、協力者の確保」（28.6％）となっている。



問 12-4 今後、上記事業を利用する計画はありますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

| 項目番号 | 選択項目 | ○回答数 | 構成比    |
|------|------|------|--------|
| 1    | はい   | 9    | 42.9%  |
| 2    | いいえ  | 12   | 57.1%  |
|      | 合計   | 21   | 100.0% |

- 市民活動団体の求める支援策や社会の変化を捉えながら、公共的課題の解決に向けた活動に取り組む団体の活動促進に繋がる支援が求められている。

問 12-5 「【問 12-1】 2 利用したことがない」と回答した方に質問します。

上記事業のどのような点に魅力がありませんでしたか。

- ・そもそも存在を知らない。広報がお役所仕事！民間のような努力が必要です。
- ・助成を受けるほどの事業をしていないため。
- ・手続きが大変そうなので。
- ・当該団体が行う活動費用に対して助成金を交付する。とあるが詳細がわからない。活動の対象範囲、助成金の限度など。



その他

問13 市民活動団体の活動を進めていく上で、ご意見や将来的な展望がありましたらご記入ください。

- ・活動団体同士のネットワーク、協働への助力。
- ・現在、倉吉市文化活動センター(リフレプラザ)を利用させて頂き、大変助かっている。団員の高齢化もあり、施設にエレベーターが無いことが困る。3階が練習拠点であり、エレベーター設置を要望したい。
- ・ルールを作り、行政のルールに乗せる事を考えていてはダメです。行政はサービス業だとの意識がほとんど感じられない。行政は市民を応援してなんぼのもの、市民活動を進めていく上で重要なことは市民活動の足を引っ張らないことである。
- ・ボランティアと言えば体力を使用している奉仕活動と思いがちですね。私たちは、これからの活動をしっかり話し合いたいと思っています。伝統文化を守り伝え、どのように社会参加できるかです。
- ・通常事務経費の助成と固定資産税の減額、事務所並びに花壇の利用経費、電気、水道料、公民館費の助成について配慮願えないか。軽減の申請はできないか。
- ・小さな団体が多数ある中で、それぞれ特色を生かした活動をしています。行政がどれだけ把握されているのか？会合や講習等する機会を多く作ってほしい。
- ・現状の保存会メンバーは高齢者が多く、広く後世に残していくことを目的としていますが、もっと多くの人に知ってもらう機会があればと思います。
- ・倉吉淀屋は観光資源の土蔵や民家が知られぬまま残っています。それらに光を当て、貴重な文化財を全国に知らしめる必要を感じています。大阪淀屋は有名ですが倉吉淀屋は知られないだけで実際はすごい。
- ・毎年、アンケート結果は公表されているが、どのように活かされているかも発表してほしい。
- ・設立して1年経ちます。今年度後半、市・県・美術館より補助金を受けて3つのイベントを行うことができました。拠点がないたため資料作成にコピーは1枚10円、カラーで50円～80円、会議室使用料毎月3,000円など備品は自宅保管とすでに運営を圧迫していて、個人ボランティアの域を超えている。文化活動者が集える場所を提供いただきたい。



倉吉市市民生活部地域づくり支援課 令和6年11月発行  
〒682-8633 鳥取県倉吉市堺町2丁目253番地1  
TEL：0858-22-8159  
FAX：0858-23-8230  
E-mail：simin@city.kurayoshi.lg.jp